

No.	推薦を受けた者						推薦をした者									
	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※推薦時	職業 団体代表	経歴		農業経営の状況		名称	代表者の氏名	目的	構成員 の数	構成員たる 資格	推薦した 担当区域	農業委員 への推薦 の有無	推薦の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等								
1	せきかわ あきら 関川 明	男	68歳	農業・ 団体代 表	S51.3 H3.1～現在 H29.7～R5.7 H30.7～現在 R3.7～現在 R4.11～現在	中央工学校第1学部測量科卒業 青森県猟友会十和田市支部会員 農地利用最適化推進委員、同互助会会長 (一社)ドローン/ヘリコプターネットワーク代表 理事 新規就農 十和田市スキー協会会長	約45年の長きに渡り建設業に携わり、主に農用地基盤整備、農業用排水路、水路トンネル等農林事業と密接に関わってきました。その中において、農業の推進、継続、改革を含めたノウハウを実践し、農業者と共に歩んで参りました。令和3年7月より就農者として、 水田31,671㎡（所有5,229㎡、借地26,442㎡）、畑10,991㎡（所有2,084㎡、借地8,907㎡）の作付けを営農しております。日々苦戦しながらも、農作業への意欲も増し、今後更に付加価値を付けた農産物の生産を考えているところです。農地利用をもっと前面に押し、集積、集約化、遊休農地の発生防止、新規就農者の推進をしている現在です。	一般社団法人 青森県 猟友会十和田市支部	支部長 小林 春雄	良識あるハンターをもって組織し、ハンターとしての狩猟道德の向上、会員相互の親睦、鳥獣の保護増殖、有害鳥獣駆除（捕獲）及び狩猟についての健全知識を目的。	64名	狩猟登録者証の申請並びに交付を受ける要件を有する狩猟者で組織する団体であつて会員となつた者をもって構成する。	三本木地区	有	平成29年7月より農地利用最適化推進委員に6年余り「食糧、農業、農村」において高い食糧自給率を上げ、さらに農産物に付加価値を付け、農家の収益力を高め、後継者を含めた若者の就農者が増える施策をしていかなければ衰退していく様に強く感じています。そのため、自分自身が就農者となり十和田市の農業の現状を肌で感じながら営農し、今何が必要なのかを諸先輩と共に取り組んできた現在があります。その中で、今後は自らが積極的に農業委員と一緒に努力しながらこの地域ならではのブランド化をより多く開発、生産、広報を含めた一連のネットワーク作りをしながら、農地利用の最適化、集積、集約化さらには遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進に向け、先頭に立って寄与できればと。特に居住している地域は、農業と市街地が混在している場所でもあり、自分でなければ問題解決を含めた農業推進は難しいとの強い思いで応募しました。更には近年非常に問題とされている鳥獣被害による農林畜産への対応も猟友会35年の経験と狩猟指導員としての実績を持って被害防止対策と現場指導も併せて推進していきたいです。	
2	わかさわ ひろゆき 若沢 弘幸	男	55歳	農業	H4.3 H4.4～現在 H29.7～現在	青森県富農中学校卒業 農業従事 農地利用最適化推進委員	水稻(主食用米) 水稻(飼料用米) ごぼう 他、たまねぎ、白菜、キャベツ、小かぶ 十和田道の駅、かだあ〜れ出荷	2.7ha 1.5ha 5.7ha 30a	切田財産区議員協議会	小笠原 健一	地域の融和と活性化及び協調心の醸成	9名	十和田市切田財産区議員	切田地区	無	地域で担い手の減少や耕作放棄地が進んでいきます。今までの経験を活かし、優良農地の保全と効率化、新規就農者の支援、これからの十和田市の農業の活性化に貢献したい。
3	たなか みのる 田中 稔	男	70歳	農業・ 会社員	S49.3 S49.4～S57.7 S59～H23 H24～R2 R2～現在 H8～現在 H22.3～現在 H25.8～現在 H30.3～現在 R5.7～現在	十和田工業高校卒業 カゴメ(株) センサ工業(株) 田中建設工業(株) アロ土木(株) 農業従事 中矢富農組合理事 JA十和田おいらせ総代 田代牧野畜産農業協同組合理事 農地利用最適化推進委員	水稻 そば 営農組合の理事として農業経営に尽力し、地域農業の活性化に貢献。	40a 60a	農業組合法人中矢富農組合	畠山 新市	農業経営	54名	副代表理事	切田地区	無	地区農業の維持と発展に向けての情報提供の発信者に期待し、活性化の立役者になってもらいたい。